

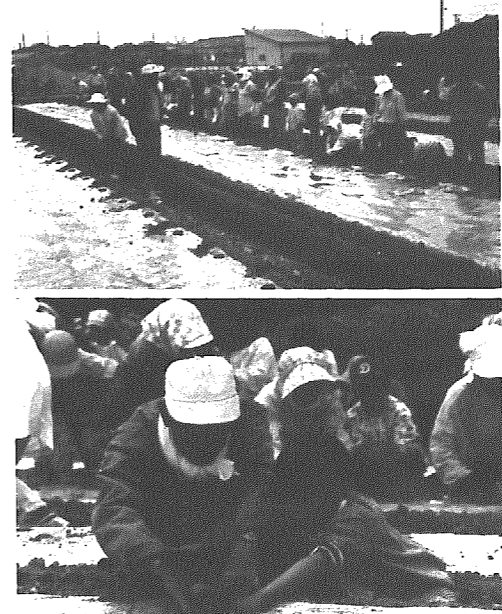
世代を超えたふれあい 園児と老人クラブで野菜栽培

「甚句枝豆やカボチャなどの農産物の生産活動を通して、異世代間の楽しいふれあい交流を図ろう」と先日、保育園児と老人クラブの人たちで「楽しいふれあい農園」が開かれました。このふれあい農園、昨年も生涯学習事業の一環として行われ大好評だったもので、ことしも、公民館を中心に、老人クラブ、農業改良普及所、両農協などの協力で開催されました。

第一回目の五月二十五日、青空の下、和納苗代地内の転作田で「わなみパンキン（カボチャ）」の苗植えが、老人クラブの人たちと園児らで楽しく行われました。参加した園児たち、カボチャの苗植えなどは初めてとあって、ウキウキ、ソワソワ。でも、老人クラブの人たちの指導で、一本一本ていねいに植え付けました。そして、先月十三日には中央保育園

裏の転作田でも、楽しい「ふれあい枝豆栽培」が行われました。当日は、保育園で老人クラブの人たちとふれあい交流を行った後、さっそく田んぼで種まき作業。暑い日差しをうけながらにぎやかに種まきが行われ、そして最後は、種を害虫や鳥から守るためユニークなカシも立てられました。夏には収穫祭も予定されているとのこと。夏にことしもたくさん採れるといいですね。

枝豆の種を「ユニコーン」にまき終えました（中央保育園）



「わなみパンキン」の苗植え、一生懸命でした



和納保育園
高橋由紀ちゃん(5歳) 左
大岩加奈ちゃん(6歳) 右

カボチャをはじめ植えてみました。まっすぐに植えるのが大変でした。でも、とても楽しかったよ。こんど見に行く時は、どんな大きさになっているか楽しみです。

本当に皆さん楽しそうでした。それに、野菜作りを通して、子供たちに働く喜びと収穫の喜びをもってもらい、明日の村づくりの役にでもなればと願っています……。(笑)

老人クラブ会長
大岩修作さん
(原・73歳)



村民歩け歩け大会

さわやかな自然を満喫



森林浴
プラス

歴史探訪
プラス

健康
プラス

新鮮な空気を胸いっぱい吸って、さわやかな自然をたっぷり満喫した村民歩け歩け大会。先月十一日、約四百人の人たちが参加してにぎやかに行われました。今回の歩け歩けは「青葉の森林浴コース」「参禅と真言密教寺コース」「天神山城探訪コース」「健康ウォーキングコース」の四つのコースに分かれ、各自の好みに合せたウォーキングを楽しみました。ふだん運動不足のお父さんこの日は元一杯、青葉が目にしみる林道を気持ち良くさすりに歩いていました。午後からはゲームなども行われ、参加者たちは楽しい一日を過ごしました。



途中で一休み、水が一番おいしい時



自然をたっぷり楽しむ参加者たち

好評につき会期延長 「甕れ岩室窯展」

7月末まで

「甕れ岩室窯展」がいま好評です。そこで、公民館では一人でも多くの人に観覧してもらおうと展示期間を七月末まで延長して展示します。わたしたちの村には、幕末から明治の初めころまでは村内に窯があったことが口伝や記録に残っていますが、夏井、岩室の窯跡の所在は確認されていますが、その窯出しの焼物は厚いペールに包まれ、その幻像すら現れませんでした。最近、岩室招魂社の登り階段脇の窯跡から採集された徳利破片と橋本阿部朋男さん床下に眠っていた徳利が一致することが判明し、約百年ぶりにその姿を現し始めました。そんな岩室窯、再び岩室の土で焼物が焼かれたり、実用的な茶わんなどが焼かれたら。観光みやげに、そして村の活性化の一因にもなればなんて、そんな夢を託して、「甕れ岩室窯展」を開催中です。

